

基本施策 3 1 学校教育の充実

- ・施策の目指す姿にあるとおり、予測困難と言われる時代に、学校・家庭・地域が連携、協働しながら学校教育を推進し、課題解決ができる児童生徒の育成を図っていくことは、教育の全般において必要不可欠だと考える。
- ・共生社会を形成する豊かな心の育成として、人権教育や外国籍児童生徒への教育の充実を図るため、教職員の人権教育研修や外国籍児童への日本語指導等が行われているようで、指標によると教職員の研修に対する満足度は目標値を実績が上回っているが、児童生徒の教育への成果として表れているのか、また、外国籍児童の指導者の確保を課題としている中で、外国籍児童が学校や指導に対してどのように感じているのか、評価が見えない部分であった。
- ・児童・生徒指導の充実においては、児童生徒のいじめや不登校問題は全国的に増加傾向にあり、本市においても同様と考えられる。
- ・いじめ防止における 3 大原則として、子供の声に耳を傾ける、子供の行動に注視する、保護者と情報を共有する等、日頃から子供の変化に気づきながら、できることを心掛けていきたい。
- ・コロナ禍での生活環境の変化や制限により、交友関係が築きにくいことも原因の 1 つであったと考えられる。

基本施策 3 2 生涯学習の充実

- ・学習の機会として各種講座が展開されているが、講座の計画等においては、様々な工夫をなされていると思う。その中で、課題とされているように、ライフステージに応じた誰もが気軽に参加できる講座が少ないと感じられる。
- ・特に、子育て世代においては、家事や育児の合間を縫って参加するため、単発の講座が充実されると参加しやすいのではと思う。
- ・一方的な講義形式の座学だけでなく、参加型やグループワーク等、参加者同士の相互理解を深めることができる講座を充実させていただくと、参加者への選択肢も増えるのではないかと、グループにて意見があがった。

基本施策 3 3 スポーツの推進

- ・スポーツを通じた、地域の活性化や健康増進は、市民の生きがいや健康寿命にも繋がるものと考えられる。
- ・スポーツを楽しむ機会として、各地域において開催していた体育祭が市民スポーツフェスティバルにリニューアルされ、今までの競技形式とは違い、ニュースポーツを含めた全ての種目を年代問わず体験することができ、1 日楽しい時間を過ごすことができた。イベントを通して、スポーツを楽しみながら世代間の交流も図れるといった、地域の活性化にもつながる取組であったと評価している。今後もこのようなイベントを継続していきたい。
- ・「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」といった視点でのスポーツ人口の増加をねらいとし

た、プロスポーツチームの観戦機会の提供に努めることが課題とされているが、栃木市民スポーツ応援団（ストロベリーハーツ）の存在を知らない市民が多いと思う。応援団が増えるよう、SNS等を活用した加入促進への工夫が必要であるので、情報周知への強化に努めていただきたい。

基本施策 3 4 文化の振興

- ・施設の老朽化により維持管理に苦勞されていることと思うが、利用する側としては、環境の整った施設を利用したいと願っていると思う。加盟団体数の減少の要因の1つとしても、施設の老朽化が考えられるので、団体等が充実して活動できる環境づくりに努めていただきたい。
- ・美術館においては、今年、企画展で開催されたアルフォンス・ミュシャ展は、内容も良く、来館者数が多かったと聞いている。目玉となる作品を展示する等、工夫に努めていただき、また足を運びたいと思うような、魅力のある企画展等の展示をお願いする。
- ・文化財の保存と活用であるが、文化財の指定を受けると保存管理の観点から、目に触れる機会が極端に減ってしまうことが非常に残念だと感じている。指定されたからこそ、様々な人の目に触れる機会を作っていただきたい。

基本施策 3 5 教育環境の整備

- ・とちぎ未来アシストネット事業の推進により、地域からの支援体制が強化されてきていることから、学校と地域との連携による教育環境の充実が図られていると感じている。
- ・学校施設の整備については、子供たちが安全に充実した学習ができるよう整備手法を検討しながら計画的に努めていただき、また、近隣の市町において推進している照明のLED化や体育館の空調設置においても、早急な整備の対応をお願いしたい。